

学校法人 東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校

2019年度 学校関係者評価委員会 議事録

日時	2019年5月28日(火) 15:00~17:00
会場	新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 東京都大田区大森北1-18-2 TEL:03-3763-2211
参加者	学校関係者評価委員会 委員 【新東京歯科技工士学校】 卒業生代表 五十嵐 智 コレクトデザイン 代表 保護者代表 根目沢 順子 業界関係者 今井 久二 和田精密歯研株式会社 東京ラボマネージャー 【新東京歯科技工士学校】 卒業生代表 渡部 みゆき 横須賀歯科医院 保護者代表 早川 令子 業界関係者 富田基子 公益社団法人東京都歯科衛生士会 会長 【両校委員】 高等学校関係者 阿部 隆一 元法政大学中学・高等学校 講師 地域関係者 塩津 二郎 公益社団法人東京都大田区蒲田歯科医師会 会長 【学校関係者】 中村道雄 学校法人 東京滋慶学園 理事長 福原達郎 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 学校長 高平 敦 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 事務局長 今井リカ 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 教務部長 西村充剛 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 キャリアセンター長 浜千恵美 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 学生サービスセンター長 (議事録：浜千恵美)

議題 <会議の概要> (進行：高平)

学校長挨拶 (福原学校長)

- ① 2018年度 自己点検・自己評価報告
- ② 2019年度 重点目標・課題について
- ③ 意見交換

事務連絡

閉会 (中村理事長)

高平) 参加者の所属と氏名の紹介。

学校関係者評価委員会について

- ・委員会を2年に1回開催としている。
- ・委員会開催後、学校関係者評価委員からの評価を情報公開する。
- ・職業教育水準の維持向上を図ることを目的に「運営・法令・教育・就職など」各方面から自己点検自己評価を実施し、その結果を学校関係者評価委員から評価していただく。

福原)

【ご多忙の中、ご足労頂いた委員の方へお礼の挨拶】

昨年度の委員会開催から学校関係者評価委員の方からの貴重なご意見を活かし、反省すべき事項は反省し、次年度へ活かす運営をしていく。

高平) 資料確認

最終的には、A3サイズの評価表に学校関係者評価委員として評価を記載する。時間が足りない場合は、お持ち帰り頂いて郵送となる。

高等教育無償化の制度の具体化に向けた方針の概要について

- ・高等教育無償化の制度が具体化された。
- ・本校も条件を満たせば、対象校になるため、申請する予定。
- ・授業料を国がある程度負担。給付型の奨学金と学校側への授業料負担の2つを合わせて、授業を受ける学生側は、教育費が無償になる仕組み。
- ・授業を受ける学生にも収入が270万円以下の非課税世帯であること等の条件がある。
- ・支援対象者の要件として、経済的な条件の他に入学前、入学後の成績、出席状況も関係し、無償化を打ち切られる場合もある。
- ・成績評価について、この学生が全体のどの位置にいるのか公表する必要があり、GPA (Grade Point Average) 評価を用いる。(大学では既に浸透している評価の方法。)
- ・学校に求められる要件に全体の10%以上に実務経験のある教員が授業を実施する必要がある。その他の要件として、法令を遵守、財務状況、学校関係者評価委員会の開催などがある。

情報公開の資料について

2018年度新東京歯科技工士学校

産学連携に力を入れ、CAD/CAM関係企業や富士通フロンティアーズ所属中村輝晃クラーク選手との提携による授業を実施した。

これらの授業は、学生のモチベーション向上につながった。

東アジアでは日本の歯科技工技術が高いと評価されており、留学生が増えている。現在の留学生については、情報公開の資料で詳しく説明する。

海外との提携では、ベトナムのホーチミン医科薬科大学との提携により、大学教授の日本国内研修を始めていく。

教育環境を整備し、歯科技工士学科と歯科衛生士学科と合同授業を実施している。

2018年度新東京歯科衛生士学校

若者を中心に評価が高い脱毛サロン「ミュゼプラチナム」と提携し、審美歯科分野のゼミ授業を開始する予定。
今後、大田区の歯科医師会と連携し、訪問歯科診療についても展開していく予定。

歯科衛生士科は、中国・台湾国籍の留学生が、毎年5名前後入学している状況。

教育のICT化（Information and Communication Technology）を図り、スマホキャンパスを開始。現在は、歯科衛生士科Ⅱ部の学生を対象に試験的に始めている。

隙間時間に動画で復習ができ、巻き戻すことも出来るのでその学生のペースで学習可能。コマシラバスなどを確認、小テストも実施でき、結果もすぐに判るので学生がどこを復習すれば良いかが理解しやすい。

管理者側では、学生がいつアクセスした等が判る。今後の学生の動向のデータ分析に役に立つ。

注意すべき点は、コミュニケーションが欠落しないようにすること。ある程度はITを使って勉強できるように考え、学生の動向をデータ化、学力に応じた学習方法を模索していく。

委員からの質問

阿部)

高等教育無償化の制度において、シラバスの中に評価基準が必要と感じたが、準備はどうか？評価の基準を明確に、達成目標は、どこに置くのかがポイントになる。文部科学省からかなり厳しく見られる。

高平)

評価基準はシラバスの中に明記している。ただし、専任の教員に比べると、非常勤教員に評価基準が隔々まで伝わっていない部分もあるので、徐々に改善していく予定。

阿部)

評価部分が公開されるとシビアな問題として、学生から「何故、この評価なのか？」と問われることがある。明確にする事が大切。

高平)

実技の授業では客観的な評価が必要ないので、ルーブリック評価等を取り入れている。

阿部)

学生側から教員に成績に対する評価確認があると、どう対処するか考えておく必要がある。

組織目的

アジアの医療業界で活躍する人材を育成すること。

運営方針

- ・ 歯科業界全体が明るくなることが大事。
- また、歯科技工士は、医療職であるが患者とは会えないゆえに、やりがいの低下が考えられる。学生には、他業種との連携で仕事を理解し、医療職としてのやりがいを持てるような教育プログラムをつくりたい。
- ・ 東京都大田区にあることから「日本の玄関」にある学校として、国際教育に力を入れていく。
- ・ 学生が最先端の歯科医療技術を学べるよう、設備もアナログからデジタル化を進めて、実学教育に取り組んでいきたい。

カリキュラムポリシーは、「建学の理念」「4つの信頼」を基盤としている。

その他

- ・ 災害が起こったときに安否確認がメールと LINE で配信されるようになっている。
- ・ 健康診断は年に1回、受診率は100%、再検査においても100%の受診率だった。

入学者

2019年5月1日現在

歯科技工士科 I 部 73 名 / II 部 14 名 / 歯科技術予備教育科 16 名
歯科衛生士科 I 部 90 名 / II 部 84 名

- ・ 日本で一番、歯科医療学校において、入学者と在校生が多い学校。
- ・ 歯科技工士科 I 部では、社会人向けに専門人材受託訓練として東京都から5名の入学者が在籍。

進級・卒業・国家試験合格率

- ・ 過去3年、国家試験の実績を資料にて紹介
- ・ 歯科衛生士科は、昼間部で100%を逃している。

就職・進学

- ・ 就職 100%
- ・ 進学 新東京歯科技工士学校 6 名 新東京歯科衛生士学校 1 名

教職員

・専任教員について、歯科技工士科は多くの科目授業を持っている。
歯科衛生士科は、持っている科目は少ないが日常の生活サポートをしている。

キャリア教育・実践的職業教育

- ・企業見学、外部見学
- ・合同授業の様子（動画にて紹介）

産学連携について

今井)

- ・災害時における歯科技工士と歯科衛生士の役割について学ぶ機会有り。歯から20歳前後など年齢別に遺体の判別ができるように学んだ。
- ・発展途上国の歯科医療開発に協力し、日本との違い、他国の歯科医療とはどういったものか等、国際教育に繋がった。
- ・地元のバスケットボールチームのスポーツマウスガード製作を通して、学習意欲の向上と歯科技工士のやりがいに繋がった。

ボランティア活動

昨年、教育課程編成委員から意見を頂いてカリキュラムに活かした。
歯科技工士科：特別養護老人ホームでの入歯への名前入れ。
歯科衛生士科：お口の健康フィスティブアルで歯科医師会と地域活動に参加し、口腔内ケア啓蒙活動を実施。

学生支援

- ・学生相談室には、臨床心理士が派遣されている。
- ・学生相談室は、昔の学生に比べ、現在の学生は、抵抗なく利用する傾向にある。
- ・1人暮らしの学生向けに、学生寮紹介、一人暮らしセミナーなどを開催。
- ・障害者の配慮について、合理的配慮を実施。
（東京都では実施義務あり）
- ・学費支援においては、ファイナンシャルプランナーが一人ひとりにあわせた学費納入プランを学生と一緒に立てている。

学校財務状況

堅実に運営。財務状態は良好。

学校評価

今回の評価の結果を公開予定。

国際連携

留学生の在籍について

歯科技工士科 I 部 在籍 15 名

歯科予備教育科 在籍 16 名 11 カ国と多国籍となっている。

- ・ 専門教育の他に日本語教育もサポート。
- ・ 就職実績 歯科技工士科 I 部 内定は 4 名全員。

歯科衛生士科 I 部 在籍 10 名

- ・ 就職先の企業提携も進めている。

委員からの質問

< 今井（和田精密歯研株式会社） >

歯科技工士の国家試験合格者は 700 人台に突入し、グローバル化を将来考える企業は、留学生の採用を考える。しかし、外国人の歯科技工士の職種で実際は VISA が下りず、働けない現状。

今後の情報を聞きたい。

< 高平 >

国で検討が始まって、歯科衛生士同様、医療 VISA で働けるように歯科技工士も話しは出るものの進んではない。就労 VISA の許可は、まだ時間を要する。

本校では、日本就職サポートの他に母国に帰って就職する学生のサポートも考えている。

ベトナムへ進出した日本企業と提携して本校で卒業後、ベトナム現地で採用などを強化していく。

< 今井（和田精密歯研株式会社） >

我社でも歯科技工士としてのモチベーションのあげ方に難しさを感じている。対面の仕事ではない歯科技工士にはどうやったら続けられるモチベーションアップの方法があれば聞きたい。

< 今井 >

学校教育の中でも歯科衛生士には、臨床実習があり、患者さんと向き合うことで、自分の仕事が見えやすい。

患者さんがみえない歯科技工士は、合同実習の中で自分の患者さんのコメントをもらい、職業観を伝えている。

企業見学実習をやらせてもらう事も職業観を伝える事ができる。

< 渡辺 >

・ 新東京歯科衛生士学校を卒業した学生は、歯科医師からも評価が高い。

- ・ その学校を卒業した事に誇りが持てる。

新東京歯科衛生士学校から採用したいと考えている。就職時期はどうなっている？

<西村>

2年3月：希望調査

3年5月：求人票発送

6月：求人票が戻りだす

7・8月：委員見学へ

9月：2院以上見学を終え

10月11月に内定

<早川>

3年生の実習先について

- ・実習だけで精一杯で疲労し国家試験の勉強ができない。模擬試験の結果もあまり良くなかったと聞いている。場所は選べないのか？
- ・実習先に新東京歯科衛生士学校の先輩がおり、参考書を譲ってもらい勉強になっている。

<高平>

実習先は、臨地実習先として条件が整った中、厚生労働省に認可されたところで実習を行わなければならないので多くの中から選べない。

<早川>

模擬試験について、情報が昼間部と夜間部に差があったようだ。

<今井>

保護者会にて説明して、現在は情報に差はない状況。

<富田>

新東京歯科技工士学校は、同窓会活動が積極的である。

今年の同窓会は、100名を越える集客があり大変大盛況だったと聞いて、学校の勢いと素晴らしさを感じている。

<阿部>

- ・就職の100%の次に、国家試験合格100%を達成して欲しい。
それが一つの学校選択の目安になるだろう。
- ・就職について、学生は、自分で探すのか？学校が紹介するのか？

<西村>

新東京歯科技工士学校：こちらで、ある程度、企業を出して紹介。

新東京歯科衛生士学校：求人票の見方を教えて自分で見つけるように教育。

<塩津>

大田区の災害時協力協定にご協力頂き感謝する。

新東京は場所・環境も良い位置にある。

- ・外国語教育について、入学後の教育についてどうか？
- ・国家試験を不合格だった場合はどうしているか。
- ・歯科衛生士学校は、多くの学校があり、御校は、定員充足しているので定員充足について聞きたい。

<今井>

・歯科衛生士は、患者対応する時に必要と考え、科目に歯科英語を入れている。歯科技工士は、基礎的な英語を学んでいる。

・国家試験不合格者は、合格するまで無料で授業サポートを実施。

<高平>

定員の問題は、歯科衛生士学校は、ライバル多く、大学が新設されて、影響を受けている。

大学には大学の養成目的があり、我々は、実学教育、産業界と一緒に教育を実施している特長を出すことで差別化を図る。

また、同窓会の取組みや、復職支援など、大学との違いが明確になっていることが重要。

<阿部>

専門職大学についてはどう考えているか？

高平)

専門職大学は、今年7~8校が認定された。その他については、文科省が認めなかった。多くの専門学校が申請したが、大学とは、施設の基準が違う為に難しい。

高校サイドからは、どう見えるか？

<阿部>

定員割れしている大学もあり、入学しやすい。専修学校への推薦もしているが、なかなか高校生が専修学校を選択するのは難しい。

未だ、大学傾向がある。

<高平>

グローバルスタンダードで考えれば、留学生にとっては学士の称号が大事になるので、専門職大学もありだとは考えている。

閉会の挨拶

< 中村 >

高等学校無償化が国会を通り、大学では、4割が定員割れをしている。100校近くの学校が廃校すると世間では云われている厳しい時代。そんな中、現在、我々の学校は、先生方からの貴重なご意見を頂き、学校運営に取りいれているお陰。今後も質の高い学校運営を行う為にご意見ご教示を賜りたい。